

令和5年度4月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【一 般 選 抜】
【外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜】

人文社会学専攻
社会学コース

〔 専 門 科 目 〕

試験日：令和5年1月28日（土）

注 意

1. 解答は、問1・問2・問3のそれぞれに対応した解答用紙（3枚同封）に記入すること。なお、それぞれの解答用紙に受験番号及び氏名を記入すること。
2. 総ページ数 — 5ページ（第1ページは白紙）
3. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

問1 次の文章を読み、設問に答えなさい。解答に際しては、解答用紙に a)、b)、c)、d) を明記すること。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

出典：片桐雅隆『人間・AI・動物 ポストヒューマンの社会学』丸善出版、2022年

備考：出題にあたって本文の一部を省略した。

- a) 本文< A >には、社会学のある学派・理論の名称が入る。< A >に当てはまる語句を答えなさい。
- b) < B >には relevance の日本語の訳語が入る。その語句を答えなさい。
- c) ここで述べられている解釈的社会学や認知社会学は、社会を説明する際に、機能主義社会学やシステム論とどのように異なるか。その違いを200字程度で述べなさい。
- d) 本文最後の下線部に続いて著者は、ここまでに出てきた概念を用いつつ、いくつかの具体的な場面を例に、解釈的社会学や認知社会学的視点の説明を行っている。そこで、①高齢者施設や病院、②家庭の2つの場面を想定して、それぞれについて下線部に続く議論を推測し、①②あわせて300字までで記述しなさい。

問2 下の図1・図2は、日本における自殺死亡率と経済成長率の年次推移、および性・年齢・配偶関係別の自殺死亡率を示したものである（死亡率はいずれも人口10万人あたりの数）。解答に際しては、解答用紙にa)、b)を明記すること。

- a) これらの図を参考にしつつ、自殺の動向に影響すると考えられる社会的背景について、社会学における理論や概念を用いつつ論じなさい。
- b) 上記 a) で述べた社会的背景は、自殺以外のどのような社会現象に影響すると考えられるかを、その理由も含めて具体的に論じなさい。

図は、著作権の関係で掲載していません。

資料) 自殺死亡率：厚生労働省『令和4年版自殺対策白書』
実質GDP成長率：内閣府「国民経済計算年次推計」(2020年度まで)より作成

図は、著作権の関係で掲載していません。

資料) 厚生労働省『令和3年版自殺対策白書』、2019年度(令和元年度)の自殺統計。

問3 次の設問のなかから2つを選び解答しなさい。解答用紙にどれを選んだか明記すること。

- a) マックス・ウェーバーの著作『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』について、その内容のエッセンスをわかりやすく説明しなさい。
- b) 日本人のワーク・ライフ・バランスの特徴とその社会学的背景について具体的な例を挙げて論じなさい。
- c) もしあなたが「観光経験としての移動」というテーマで研究するならば、どのような研究計画になるか。対象、分析の観点、研究方法などについて、できるだけ詳しく述べなさい。
- d) 社会的距離 (social distance) と社会的不平等の関係について、具体例を挙げつつ社会学の観点から論じなさい。
- e) あなたが読んだことのある文化人類学的研究をひとつ取り上げ、詳しく紹介したうえでコメントしなさい。